

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	昨年11月より配食サービスに移行、以前のような食事を作る機会が減ってきている。メニューも決まっておりに前のように入居者様の食べたい物を作る事が減ってきている。	①入居者様との日常的な会話の中に季節に合わせて食べたい物や話題となった料理を知り得たら入居者様と作る計画を立てる。 ②日頃の汁物の作成、盛り付けは入居者様と行う。お菓子作りも積極的に行う。	①スタッフが春だからあれを作ろうなどと決めず、入居者様とこの時期はあれを食べていたなどの発言を引き出しそれを実現する。 ②少ない調理の機会を入居者様に行って頂く。汁物の具を一緒に考える。	6ヶ月
2	35	現在は今までの災害とは被害が違う、災害に対して備えは充実してきているが、実際の時に何が出来るかが重要となる。スタッフに対しての意識の向上が必要となる。	①実際に被害は出てないが軽い地震、災害がある時に避難行動、身を守る行動を実際に行う。 ②災害時の動きをスタッフに確認する。 ③今までにない災害が起きているので情報を素早く取り入れる。	①軽い揺れや台風の時に身を守る行為を行う。実際に避難まではしないが、避難に必要なものを準備する。(予行練習) ②テスト形式などで現状どこまでスタッフに災害時の動きが浸透しているか確かめる。 ③各地で起こる災害に対しての取組み、被害状況を確認し自施設の運営に取り入れる。	3ヶ月
3	19	コロナ禍においても、ご家族様が仕事をしているなどで面会の機会が減っている。今年は行事も中止となりご家族様と入居者様の接点も減り、スタッフとご家族様との交流も減っている。	①入居者様の状態の変化などはカルテに記載しご家族に状態が伝わるよう記録を残す。②中々面会に来れない家族様へは手紙、電話で必要事項を伝える。 ③季節毎に入居者様と手紙を書く。	①認知症、身体状況の変化はカルテに記載し、面会時ご家族にも伝えるようにする。 ②請求書など郵送時に伝えたい内容がある時は一緒に手紙を添える。 ③行事として手紙書く日を作る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。